

県内学校ミニ・ニュース (芝山町立芝山小学校)

本校は、平成27年に、芝山町にあった3つの小学校を統合した小学校で、8年目を迎えました。統合をきっかけに、芝山町全体に目を向けた学校行事や地域の方とふれあう学習が多く位置づけられ、地域の行事にも積極的に参加し、地域の方々と深くつながっています。しかし、ここ数年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、さまざまな学習や活動において制限を余儀なくされました。楽しい地域の行事やイベントも中止が相次ぐ中で、どのように地域の方々とつながり、連携した学習ができるかを考えました。コロナ禍において、工夫して取り組んだ実践の中から、5年生の総合的な学習の時間で行った「米作りに挑戦」の学習について紹介します。

田植え

青年クラブの皆さん、よろしくをお願いします。

調査

学習課題をもつ

鎌の使い方を丁寧に教えてくださいました。

稲刈り

芝山小のお米が、給食で出された時に児童・生徒へ紹介しました。

給食センターへ

家庭科調理実習

一人暮らしのお年寄りへ

みなさんに喜んでいただけるとうれいす。

学習発表会

お届けセット

10月14日(水曜日)
今日の献立
お米の炊き分け / さかなのさかな / ラーメン / 味噌汁

今日の給食のこはんは、先月芝山小学校の5年生が稲刈り体験で収穫した、今年最後のばかりの新米です。今年も、新型コロナウイルスによる学校の休校で、5月の田植えはできませんでしたが、代わりに青年クラブの方々が田植えをして、由んぼを管理してくれました。みんなの思いの詰まった天然のお米を、玄米で150kg、給食に分けていただきました。精米をしてぬかを取り除くと135kgのお米になりました。これは芝山町の小学校と中学校で食べる給食の3割分の量になります。新米は、蒸気が多く、そのまま白いご飯で食べても甘くておいしく、もちったさの美味が特徴です。今日と16日、週を明けて19日の3回の給食で味わっていただきます。稲刈りをした5年生のみさん、ありがとうございました。

「田植え」と「稲刈り」は、地域の青年クラブの方にご協力いただいています。そして、収穫したお米は、家庭科の調理実習の時に使用します。また、少しずつではありますが、家庭にも持ち帰りました。地域へのつながりとしては、芝山町給食センターへお米を届け、本校と町内の中学校の給食に3日間提供していただきました。

さらに、コロナ禍において工夫したことは、一人暮らしのお年寄りの方に収穫したお米をプレゼントしたことです。子供達が直接届けることはできなかったため、社会福祉協議会の方々に協力いただき、収穫したお米3合とともに、子供達が心を込めて書いた手紙を添えて届けていただきました。その後、お米を受け取った方からのお礼の電話や手紙が届き、子供達も大変喜んでいました。直接会って行う交流はできなかったのですが、お米を通じて心温まるつながりをもつことができたことは大きな成果であると感じています。

今後もさらに、地域に根ざした教育実践を目指し、活動の工夫や地域の方々との連携の強化について考えていきたいと思ひます。